

道路建設工事における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	現場での仕事が終わりに、事務所に戻り片付けをしていた際、材料を運ぼうとして持ち上げたが重く、手が滑って落とした拍子に後ろにあったダンプに右手が当たり負傷した。	63	10~29
2	11~12	当社所有の資材置場にて片付けるためU字溝の吊り込み作業中、不安定の状態にあるU字溝に上ったため足もとがぐらつき身体のバランスを失い支えようとした際、下段のU字溝の角に脇腹を強打し負傷した。	51	1~9
5	8~9	鉄板敷設作業の玉掛け作業中に、被災者が鉄板の玉掛け金具を外していたところ、クレーン機能付バックホーオペレーターは、玉掛け金具が外れたと思いブームを起こす操作を行ったところ、鉄板が吊り上り、被災者は体勢を崩し右側へ転倒した。その際にずれた鉄板が左足首辺りに衝突し負傷した。	31	100~299
6	15~16	法面補修工事現場において、法面整形作業中に地中にあった鉄製の土留枠に気付かず踏んだ際に、左足底部を負傷した。	34	1~9
6	11~12	倉庫の整備中、台の上で作業をしていて、滑って台の角に胸を打ち、骨が折れた。	63	1~9
7	17~18	現場から事務所に戻り、トラックから資材、工具を片付ける作業中、荷台から降りた時に右足首をひねって負傷したものの。	23	1~9
7	10~11	支社機材置場にて、コアボーリングマシンを専用車両から荷下ろし中誤ってコアボーリングマシンのキャスター部を右足に当て、右第2中足骨を骨折した。	43	10~29
				10

7	7~8	4tダンプに資材を積込んでいるときに資材が落下し、4tダンプから飛び降りたときに足を捻挫したと思った。痛みがあり病院に行ったところ、骨折と判明した。	67	~ 29
9	10~ 11	歩道工事で、下請の作業員が高木（約7m）を撤去作業中（高所の枝をすべて撤去）残り約2.5mを撤去中、木に帯ひもを掛けてユニックで吊り上げつつ脚立の上から（地上約2m）、チェーンソーで枝を切断している時切れた枝が自分の方に向かってきた為、とっさに脚立から足がおりてしまい、左手・胸・腰のあたりを地面に強打し負傷した。	40	10 ~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)